

逆ラジオによる地震の前兆の電磁波ノイズのデータは、そのデータが減衰、収束後に地震が発生します。しかし大地震の場合、大きなデータが長期に続き、ある時に最初の減衰が始まっても、すぐには地震が発生せず、その後、2 段目、3 段目の減衰を経て、小さいデータが続いた後に地震が発生するケースが多い。大地震の前兆は 1 時間当たり数万～数十万という大きなデータが長期に続き、全体として巨大なデータになり、何度かの減衰後、小さいデータの連続になって発震します。そこで過去にいつ大地震が発生しているか？というタイミングを以下のように検証してみました。

1, 2016 年 4 月 14, 16 日熊本地震の場合：高知のデータの経過：

2/4 頃に一段目の減衰、2/24 頃に 2 段目の減衰、その後小さいデータが続き、4/14 に M6.3 の前震、4/16 に M7.3 の本震が発生。 > 2 段目の減衰後、**約 48 日**で発生。

2, 2024 年 1 月 1 日 能登地震の場合：浜北 017 のデータの経過 前年 2023 年 10/10 頃最初の減衰、11/9 頃、2 度目の減衰、その後小さいデータが続き、12/25 頃から山が出来き、減衰。翌年 1/1 に M7.6 の地震が発生。 > 2 度目の減衰後、**約 52 日**で発生

3, 2024 年 8 月 8 日日向灘 M7.1 の場合：7/1 頃急な減衰になり その後小さいデータが続き 8/8 に M7.1 が発生。 > 減衰後 **約 40 日**で発生。

以上のように、大きなデータの**減衰から約 40 日～55 日**で大地震が発生していることとなります。

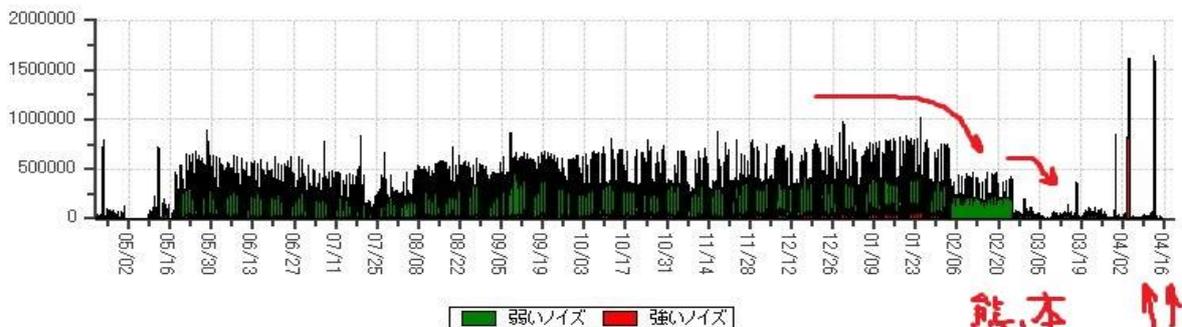
4, 今回 2025 年 4 月に予想される九州の大地震の場合：1 段目の減衰が 2/20 頃で、4/16 まで

は約 55 日経過、2 段目の減衰が 4/5 の場合、4/16 迄約 10 日経過。

今後十分な警戒が必要です。以下に参考データを載せます。

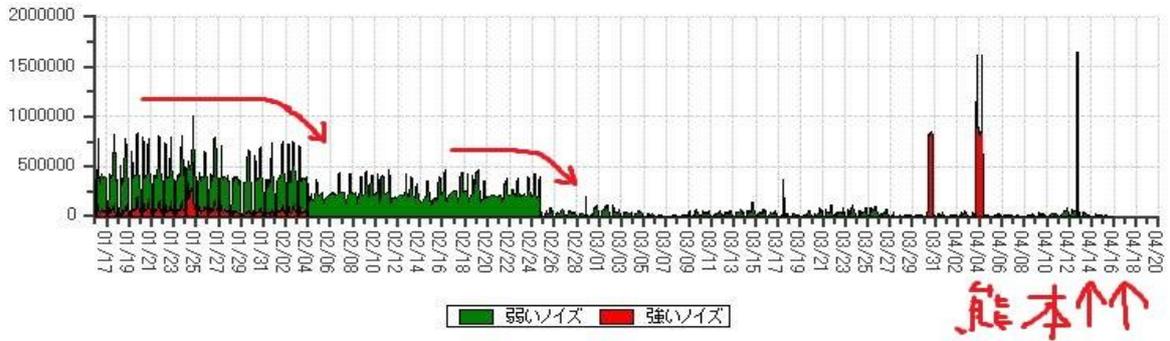
1, 2016 年 4 月 14, 16 日熊本地震の場合 高知のデータの経過

高知 B449



2/4 頃に一段目の減衰、2/24 頃に 2 段目の減衰、その後小さいデータが続き、4/14 に M6.3 の前震、4/16 に M7.3 の本震が発生。> 2 段目の減衰後、約 48 日で発生。

高知B449



2, 2024 年 1 月 1 日 能登地震の場合
浜北 017 のデータの経過



前年 2023 年 10/10 頃 最初の減衰



前年 2023 年 11/9 頃、2 度目の減衰、その後小さいデータが続き、12/25 頃から山が出来てきて減衰。2024 年 1/1 に M7.6 の地震が発生。> 2 度目の減衰後、約 52 日で発生



3, 2024年8月8日日向灘 M7.1 の場合

7/1 頃急な減衰になる。



その後小さいデータが続く。



7/1 頃の減衰の後、小さいデータが続き 8/8 に M7.1 が発生。> 減衰後 約 40 日で発生。



4, 今回 2025年4月の九州の大地震の予測



1 段目の減衰が 2/20 頃で、4/16 までは約 55 日経過



2 段目の減衰を 4/5 頃とすると、4/16 まで約 10 日経過



4/5 頃の 2 段目の減衰後、小さいデータと散発的な 1 本立ちになっている。

